

村政を問う 一般質問 ..... 6

アンケート調査事項の内容は  
地域高規格道路ルート決定はいつか  
資格証明書を発行しない自治体へ  
全天候型陸上競技場を作るべき  
飯森区は村の意向に従うと表明したか

はくば  
白馬  
議会だより  
87号

平成20年第4回定例会 ..... 1

請願・陳情の審査結果 ..... 5

視察研修報告 ..... 12

おらが里づくり ..... 14

わたしのひと ..... 15



朝焼けに輝く白馬三山

(表紙の写真：太田光保氏から借用)

平成20年 第4回定例会

# はアンケートで

\* 一般会計補正予算等の議案

\* 条例制定の発議

\* 請願・陳情

\* 意見書提出の発議

\* 一般質問

7件  
1件  
9件  
5件  
5名

## 本会議での討論

● 新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情

### 賛成討論 (渡辺俊夫)

住民合意を得る手法として、透明性が確保されないアンケートによるべきでなく、住民投票にすべきであるという理由から、賛成します。

### 反対討論 (高橋賢一)

広域連合は「白馬村飯森を建設候補地として、ごみ処理施設建設計画について、白馬村内住民の意向を集約するアンケートの実施を決め、議会は事業費約300万円をもって一般会計補正を賛成多数で可決しています。即ち広域連合が住民意向調査をアンケートによって実施をするということであり、住民アンケート調査委員会を設置して、設問案については住民の意見を募り「シンプルな設問を採用したい」とするものです。また、回収率によってアンケートの成立・不成立を判断しないとして実施される、民意を問うアンケート調査方法に賛成しません。



飯森候補地反対パレード

12月9日から18日まで 開催

# 新ごみ処理施設建設計画

# 住民意向調査

● 新ごみ処理施設建設候補地変更の陳情



新ごみ処理施設完成イメージ図

## 賛成討論 (柏原孝至)

一人でも多くのお客様を誘致しなければいけない時に、お客様の嫌がる施設を観光地白馬村の玄関口、横には国道148号線、JR大糸線、オリピック道路、いこいの杜、グ

リーンスポーツの森、名鉄別荘地、みそら野別荘地、まだまだ白馬の中心として発展していかなければいけない場所、更に北アルプスを一望できる、まさに観光地白馬村へお客様をお迎えする大切な場所へ、ごみ処理施設を建設するよりも、ごみ処理施設は村で引き受け、村内の村民合意できる場所へ建設候補地を変更するべきと思います。

## 反対討論 (下川正剛)

候補地変更場所案として、1998年冬季オリンピックのバイアスロン会場候補地にと言っているが、土砂災害防止法の特別警戒区域であり、レットゾーンであること。また、佐野坂案については、湿地帯であり困難であると議会で説明を受けています。

広域連合議会で建設候補地は、飯森として承認され、更に近々アンケートを実施することを決定しており、現時点での変更は困難であり、反対いたします。

## 反対討論 (太谷正治)

新ごみ処理施設候補地は、国道148号線に面し、住民に対し分かりやすい場所、持込み易く、また利便性のある場所でもあり、公開性が保たれる施設でなくてはならないと思っています。周辺のグリーンスポーツの森、別荘地を十分意識した中で、公害と環境に配慮した施設に成りうるものと信じます。将来施設の周辺を整備することにより、村民の憩いの場所と成りうる地籍であります。処理場施設が、観光客の受け入れに打撃を与えるものではなく、しっかりとした施設ができることによって、お客様の信頼が得られるものと確信するものです。施設の場所は、村が決定するのではなく、共同体の広域で決定された場所であり、飯森の施設が出来ない場合は、白馬村でなく広域に返還し、再度施設の場所を選択することが、広域の一員である白馬村の決断すべき方向だと思えます。従いまして、陳情は不採択とするべきです。

このような審議がありました



整備された障がい者用駐車案内看板

## 総務社会委員会

### 障がい者用の駐車案内看板の補修整備

可決と決定。

- 長野県市町村自治振興組合規約の変更及び組合を組織する市町村数の減少について  
下伊那郡清内路村が、市町村合併により組合を脱退。  
▽ 賛成全員で可決と決定。

- 長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について  
下伊那郡清内路村が、市町村合併により組合を脱退。  
▽ 賛成全員で

### ● 一般会計補正予算

**問** 財産管理事業の修繕費にある、障がい者のための看板は、どこに設置するのですか。

**答** 多目的集会所施設前の障がい者用の駐車案内看板が壊れたので補修及び整備するものです。

**問** 村税の徴収率向上のため、強化月間等を設定し、村の姿勢を見せる必要があると思うが、そうした考えはないですか。

**答** 12月の広報で、村税の徴収について、相当厳しい内容の記事を載せる考えです。

**問** 合併浄化槽の処理水が、河川に放流されている所がありますが、対応は十分ですか。

**答** 合併浄化槽は建設水道課の所管です。  
法律的に指導権を持っているのは、県であり、毎年調査をしています。今年も2回実施したことを確認しています。  
▽ 賛成4・反対1で可決と決定。

### ● 国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

保険給付費等を374万円追加するものです。  
▽ 賛成全員で可決と決定。

### ● 老人保健医療特別会計補正予算

高額医療費を25万2千円追加するものです。  
▽ 賛成全員で可決と決定。



## 産業経済委員会

### 一般会計補

#### 正予算

**問** 神城山麓線の事業費減の理由は。

**答** 国からの補助金が減額したためです。

**問** 白馬岳小雪

工事費の減額理由は。

**答** 環境省からトイレ併設の指導があり、来期に向けて考えたい。

▽ 賛成全員で可決と決定。

### 下水道事業特別会計補正予算

**問** 311万9千円の減額の理由は

**答** 職員の人員削減です。現年度使用料の減額理由は。

**答** 新規加入者の減です。賛成全員で可決と決定。

### 水道事業会計補正予算

**問** 補正の主な理由は。

**答** 花園簡易水道工事による収益費の44万4千円の追加と職員退職手当金10万円の減額です。

**問** 水道メーターの交換時期と供給個数は。

**答** メーター交換期限8年、交換個数は810個、供給個数は5300個です。

▽ 賛成全員で可決と決定。

平成20年11月4日発行の

議会だより86号の

お詫びと訂正

6ページ「庄屋まるはち」

『横沢家』は、嶺方より新田に移住し、『嶺方横澤家より新田に移住し』に、『二代目横沢本衛』を『九代目横沢本衛』に、『大地主』ではなく、『富豪』として繁栄したそうですので、深くお詫びをして訂正いたします。

## ごみ処理施設

### 特別委員会

#### 北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中のごみ

#### 処理施設の建設についての住

民投票に関する条例の制定

(継続審査) (発議)

**意見** 既に広域連合で、候補

地飯森について、住民意識調査(アンケート)を実施することを決めていきます。また、議会はアンケート実施の説明

を受け、承認しています。

**意見** 住民合意のために、住民投票にするか、アンケートにするかについて議論されてきました。アンケートにするなら、住民投票に近い形で実施すべきです。アンケートにするか、住民投票にするかは、執行権の問題です。議会でも賛成多数で承認可決されています。

**意見** 委員会で議論をせずに、全員協議会で承諾されてしまったのですが、そういうことでよいのかなと思います。

**意見** ごみ処理施設建設に向けた地質調査や地域に与える環境調査についての是非を問うアンケート調査を、北アルプス広域連合で実施します。

我々も、このアンケート調査を承認していますので、条例は必要ないと思います。

▽ 賛成2、反対7で否決と決定。



オープンした庄屋丸八

● 12月定例会議決結果 ●

件 名	議決結果
北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中のごみ処理施設の建設についての住民投票に関する条例の制定	否決 (賛成 2、反対 8)
長野県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について	可決 (賛成 全員)
長野県市町村自治振興組合規約の変更及び組合を組織する市町村数の減少について	
一般会計補正予算	可決 (賛成 9、反対 1)
国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決 (賛成 全員)
老人保健医療特別会計補正予算	
下水道事業特別会計補正予算	
水道事業会計補正予算	
離婚後の親子の面接交渉の法制化を求める意見書	
介護労働者の処遇改善を求める意見書	
介護保険料を所得比例中心に変更することを求める意見書	
所得割重視の国保税 (料) を求める意見書	
介護保険制度の抜本的改善を求める意見書	

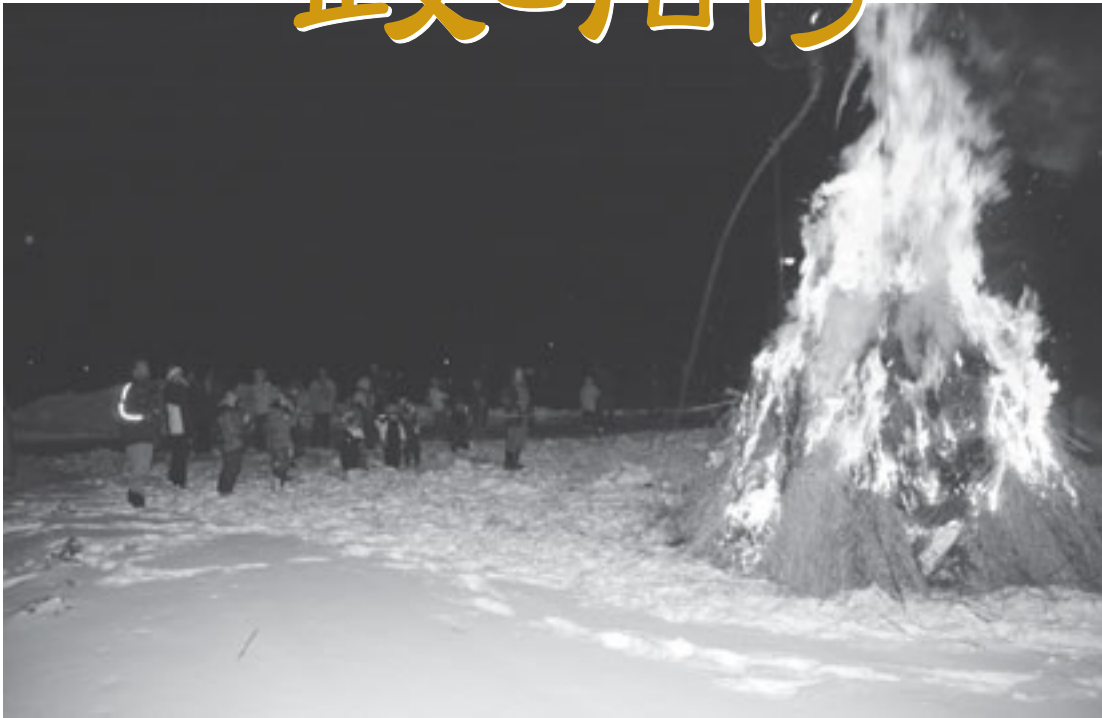
● 請願・陳情文書 ●

平成20年第4回白馬村議会定例会にて審議

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
親子ネットNAGANO 代表 堤 則昭	白馬村	離婚後の親子の面接交渉の法制化を求める請願	総務社会委員会	採択 (賛成 全員)
長野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信	長野市	介護労働者の処遇改善を求める陳情	総務社会委員会	採択 (賛成 全員)
長野県社会保障推進協議会 代表委員 熊谷嘉隆 坂本隆久 鈴木信光 高村 裕 松澤秀紀	長野市	介護保険料を所得比例中心に変更することを求める陳情	総務社会委員会	採択 (賛成 全員)
		所得割重視の国保税 (料) を求める陳情		
		介護保険制度の抜本的改善を求める陳情		
互助共済を守る長野県懇話会 会長 関 昌憲	長野市	共済法制定を求める陳情	総務社会委員会	継続審査 (継続 全員) 相互扶助制度は必要であるが、法制定による現行制度への影響が見えてこない面がある。
白馬幼稚園保護者 代表 村下みちえ	白馬村	幼稚園就園奨励費補助金事業制定についての陳情	総務社会委員会	採択 (賛成 全員)
「白馬新ごみ処理施設を考える」連絡協議会 会長 宮田 温巳	白馬村	新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情	ごみ処理施設特別委員会	不採択 (賛成 2、反対 8) * 特別委員会参照
ごみ処理施設建設推進にあたり白馬村内での建設候補地の場所の変更を要望する会 会長 上川 幹夫 会員一同	白馬村	新ごみ処理施設建設候補地変更の陳情	ごみ処理施設特別委員会	不採択 (賛成 1、反対 9) 広域連合に、建設候補地飯森の変更を申し出る理由が見当たらない。

## 一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

# 村 活力ある 村づくりをめざして 政を問う



昔からのイベント「おんべ」三日市場地区



「クリスマスナイトin白馬」踊る外国人客

ごみ問題

問 アンケート調査事項の内容は

答 内容は住民投票に近いものに



宮尾幸典議員

【ごみ処理施設問題】

**問** 委託する専門調査機関について伺います。

**村長** 「長野県世論調査協会」で、信濃毎日新聞を

代表者とし、県下の自治体、報道機関、金融機関等113企業・団体で構成され、一般的な世論調査、市町村合併の住民アンケート調査等、世論調査を専門的に手がけている機関です。

**問** 調査事項の内容については「住民投票に近い簡略な内容にすべきである」という意見を載っていますが。



地域高規格道路長野県側ルート案の説明

**村長** 極力曖昧さを排除し、候補地についての賛否の度合いを問うもので、極めて住民投票に近いものになるものと思っています。

**問** 公表の時期は、いつごろを予定していますか。

**村長** 集計、解析を経て、2月の下旬には公表出来るものと考えています。

**問** 大町市の最終処分場は、整備に15億ほど要したと聞いていますが、仮に、

白馬山麓環境施設組合（白馬村・小谷村）が最終処分場を

計画したとした場合、可能性はあるのでしょうか。

**村長** 最終処分場は、焼却施設と同等、又は、それ以上立地条件等の厳しい施設であると理解しており、組合単独で設置することは、非常に難しいと考えています。

**問** ごみ中継施設については。

**村長** この地域（白馬村・小谷村）で考えられているごみ中継施設では、整備に6億円程度、年間の維持費に5千600万円程度必要と試算されております。また、東京都杉並区の中継施設で発生した健康被害、いわゆる「杉並病」のような問題、臭いの問題等弊害の発生を懸念しています。

【地域高規格道路問題】

**問** 「地域高規格道路―松本・糸魚川連絡道路」の整備に合わせ、村の自然環境にあった企業誘致条例を制定の上、企業誘致による産業構造の転換を図る考えはありませんか。

**村長** 「地域高規格道路―松本・糸魚川連絡道路」の整備に合わせ、村の自然環境にあった企業誘致条例を制定の上、企業誘致による産業構造の転換を図る考えはありませんか。

**村長** 新たな雇用対策のための企業誘致につきましては、村の活性化のために重要なことであり、地域高規格道路に大きく期待するところですが、村のどこを通るのか全く分からない現段階では、白紙の状態です。

【高校再編問題】

**問** 県は今後、地域の少子化により、新たな再編基準に満たない学校は、地域キャンパス化、いわゆる分校化を検討するとあります。

**村長** 12月に示される予定の県教育委員会の具体的な再編計画案を受けて、白馬高校がキャンパス化にならないための具体的な魅力づくりを検討していく方針です。なお、旧第12通学区の専門委員会から、「白馬高校については、将来地域キャンパスの検討を…」という意見を戴いては早計であり、懇談会の最終的な提言書からは削除してあります。



道路問題

問 地域高規格道路ルート決定はいつか

答 4月に決定されると聞いています



下川正剛議員

【地域高規格道路】

問

ルート案が公表されました。長年の悲願がいよいよ実現にむけて大きく前進できると思いますが、村として今後どのように取り組めますか。

村長

県では、豊科北ルート案を公表しました。村からは最短ルートとなり、緊急医療の面においても歓迎すべきと考えます。村におけるルート案は、農道1号と通以北の国道148号の現道を利用し飯田から新田の間は更なる調査・検討が必要の区間であり

4月には県の方針が決定されると聞いています。村内の意見交換をしながら、実現に向けて進めていきたいと思いません。

【平川・松川流域砂防工事】

問

平川・松川流域の砂防工事促進と姫川合流点下流及び中部電力姫二ダム下流の洗掘防止と護岸工事を国・県に対して強力に促進要請する考えは。

村長

床固工の整備が進みます。合流点直下には水神宮橋や村道があり橋台や橋脚の洗掘や、路肩の流失が懸念されています。中部電力姫二ダム下流では、ダム建設以来、急激に洗掘護岸の崩壊が進み農地の流失の危険性がはらんでおり、国・県に対して砂防工事の促進要請に努めています。

【地上デジタル放送】

問

2011年にアナログ放送からデジタル放送に移行されますが対策は。また、集落によっては共同アンテナ対応している組合数は現在どのくらいありますか。

村長

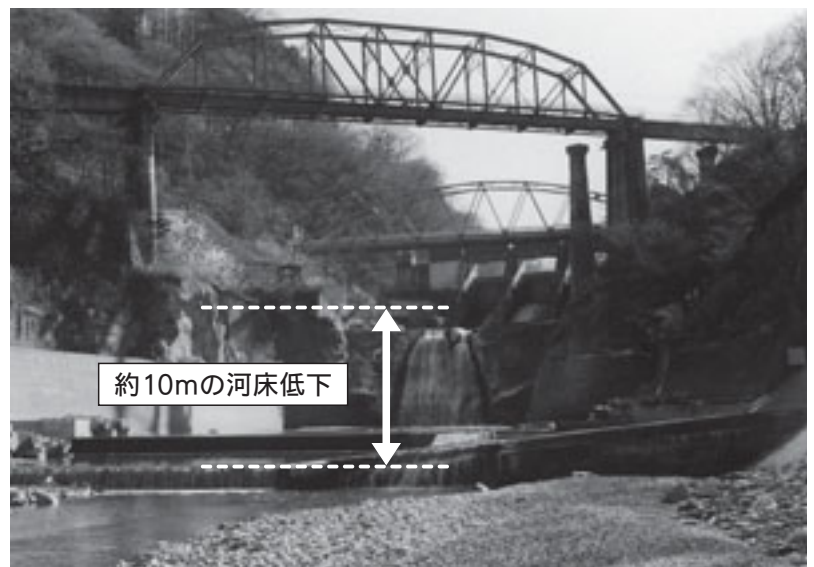
地上デジタル放送に完全移行になり、視聴者においては機器の購入などそれぞれの立場での対応が必要となります。共同アンテナの組合数は、神城4地域・北城4地域で、受信設備改修は必須であり、国等では整備方法について、地域の状況に即した支援制度を設けています。

問

防災無線も老朽化をしております。将来的には小谷村のような全村光ファイバーでの対応の考えは。

村長

関係機関と調整ができてきたのであり、できれば、テレビという映像を通じ



進む河床低下 姫二ダム下流

の認識下、住民の目線に立った行政運営に心がけています。民間感覚を取り入れた運営を心がけ、常に危機感を持ちスピード感、既成の概念にとらわれず行政運営を行っていただきます。庁内改革においても職員に

【行政運営】

問

村民の目線での行政改革・庁内改革の意気込みを現在どのように認識していますか。

村長

就任時から村政運営の基本は住民が主人公

問

職員とのコミュニケーションを図っていますか。

村長

個人面談などしながら職員との意思の疎通を図っています。

福祉問題

問 資格証明書を発行しない自治体へ

答 この村の特殊事情もある



小林英雄議員

【緊急施策】

問

金融危機の影響が、観光業を中心とする白馬村民の生活を脅かしています。景気悪化から村民の生活を守る緊急施策として、「福祉灯油」「利子補填」「村による緊急融資」「国保証取り上げ停止」などの施策が求められています。特に、長野県では「資格証明書を発行しない自治体」が60%を超え、全国でベスト3だけに、是非その仲間入りを実現してほしいが。

村長

灯油価格が安くなっているため、今年度灯油購入緊急助成事業は実施し

ませんが、緊急事情が生じた場合は、対応を図っていきま

す。融資については、信用保証協会保証料を県と1/2ずつ負担しており、商工会との連携により有利な制度を利用しています。資格者証は、できることならば発行しないようにしたいが、本人の都合により、資格を規定することも難しい状況にあります。なお、18歳未満の児童・生徒には、被保険者証を発行していません。

【新ごみ処理施設建設計画】

問

住民アンケート実施を決めたとのことだが、先ず問うべきは「生活環境影響調査」ではなく、「飯森候補地受け入れの是非」ではないですか。

村長

その両方を問いかけるられるアンケートを考えています。

問

民意を客観的に把握できる「住民投票」がもっとも望ましいとの立場は変わらないが、「住民アンケート」実施に際して村民の理解が進んだとの判断は早計であり、もっと説明や懇談の場が必要だと思いますが。

村長

住民説明会・講演会など時間をかける中で、一定の理解を得られたと思っています。

問

議会の「住民投票に近しい設問」との一致した要望が生かされれば、設問は単刀直入で良く、費用がかさむクロス集計も必要ないと思うが。

村長

集計には、それなりの方法があり、専門機関に任せたいと思います。

問

有効・無効の境界を含め判断基準は事前に明示すべきと思いますが。



安曇総合病院附属白馬診療所

村長

アンケートの内容、集計方法、回収率については、情報公開すべきものと思っています。

問

副連合長でもある小谷村小林村長のとった態度は、明らかなルール違反だと思いますが。

村長

白馬村として、色々な立場ではありません。

問

大町市は、現有施設の継続使用を視野に入れた具体的な検討を行なっ

ています。白馬山麓の施設についても調査を行ない、計画の長期凍結で継続使用に道を開くことを提案しますが。

村長

現有施設の耐用年数、寿命が延びるものであり、寿命が延びるものであります。広域化計画は、現有施設を十分検討した上で、費用対効果も踏まえ、先を見越して計画しています。

施設問題

問 全天候型陸上競技場を作るべき

答 新たな検討委員会で検討します



下川辰男議員

者などによる検討委員会を立ち上げ、検討したいと思います。

【問】 庁内検討委員会の検討状況は。

【答】 昨年、教育委員会内に関係各課から委員7名を選出し、「白馬クロスカン

トリー競技場の利活用の可能性」について先進地等を視察し、各方面から期待されている全天候型陸上競技場の整備について、環境アセス等調査

【問】 整備には多額の費用が必要となりますが、

【答】

その財源は。

【問】 あの地域は、幸い辺地債で対応したいと考えています。なお、今後の進め方は、競技団体や観光関係者などの意見を十分聞いて、21年度中に意見をまとめたいと思っています。

【答】

【問】

【新年度予算】

規模と重点施策は。

【問】

【答】 地域役員懇談会等での経過を踏まえ、財政健全化を進めながら限られた予算の中で、優先順位や緊急性を加味し、できうる限りの施策を展開したい。福祉関連ではデマンド型乗合車両の本格運行、道路関連では神城山麓線の継続整備、環境関連では公衆トイレの改修とごみ減量に向けた総合的な取り組み、教育関連では図書館の蔵書管理システムの構築、スポーツ関連ではジャンプ競技場等の利活用と総合型地域スポーツクラブの立ち上げ、観光関連ではグリーンシーズンの誘客促進、宿泊施設の強化、イン

パウンドの推進などを考えています。

【松本・糸魚川連絡道路ルート案】

【問】 村内ルート作成は、どのように行いますか。

【答】 県の方針決定後に、地域の人達の意見を聞きながらルートを検討したいと思っています。

【問】 ルート作成にあたり、村のビジョンを考えると必要があります。例えば、148号線とオリンピック道路の両方から入れる所に、新しく「道の駅」を作り、そこへ観光局や地場産の売店等を入れて白馬の玄関口にしたらどうか考えますが。

【答】

【問】

【答】

【問】

【答】

【問】

【答】

【問】

【答】

【問】

【スノーハープの有効活用】

【問】 施設は、冬季に比べグリーンシーズンは有効に活用されていません。夏の陸上合宿を受け入れできる施設として、全天候型陸上競技場を作るべきだと思いますが。

【答】

【問】

【答】



有効活用を望むスノーハープ

ごみ問題

問 飯森区は村の意向に従うと表明したか

答 その時の状況で従うことを確認した



渡辺俊夫議員

本旨を曲げているものではないと思います。村の総意として、あの場所が建設地として相応しいということになれば、また逆の立場になれば、その時の状況で飯森は状況に従いますと、確認をした訳です。

【村の将来像】

村内の複数地区に、海外の投資会社による

問

巨大な宿泊施設建設等の計画があります。今、村民が村の将来像を見据えて的確な判断をしなければならぬと思いますが。

村長

総合計画に沿って、これからの基本構想に基づき施策の遂行をしていくことは当然なことであり、これが村の将来像そのものであると考えています。村民の合意を得ながら作り上げた開発基本条例等に則って、事を進めています。

問

日本の道100選の山麓線沿いで約2500㎡の敷地の木を全て切って分譲販売の看板を掲げる開発があります。

村長

木を残すことは望ましいことですが、その事例を見て、すぐそれを制約するための条例を作るといような拙速なやり方は、如何なものかと思えます。村民の中からそういう声が出てくれば、その声を尊重して対応していくべきだと思っています。

問

開発計画のある和田野区の役員の前で「日本人はだめなので、たとえ10年間でも良いから外国資本を入れたい」と発言をしましたか。

村長

「たとえ10年間でも良いから」とは言っていないです。外国人だからダメ、日本人ならいい、というような差別はできないでしょう、



「日本の道100選」に選ばれた白馬山麓線沿いでの開発

ということを前提に話をした訳です。

【観光産業の活性化】

問

観光局長について、人選がとて不透明、公募したにも拘わらず最初から決まっていたのではないか、90日間の勤務契約なのか、未だに社員への紹介がない、村内の視察をしないでよそばかり行っている、といった意見が村民から寄せられています

村長

2度目の一般質問で、ある観光局長の人選については、公募・面接等の経過がある中で、「すでに局長が決まっていた」ということは、あるはずがないので、根拠を示して質問してもらいたい。勤務状況についても、理事会で報告してはいますので、何ら不透明なところはないと考えています。

村長

会議録の一部を取り出して言われても非常に聞く人たちが誤解を受けると思います。今までの説明会の経過や10月15日の地区役員会を踏まえて発言したもので、

問

10月20日の全員協議会の席上、村長は、10月15日に飯森の区長・当役は

村執行部に「飯森区として賛成反対の評決はとらず、村の意向に従う」ことを表明したとしています。しかし、これは真実でなく虚偽の発言です。住民合意の手法としてあってはならないと考えますが。

# 北海道における外国資本による開発の実態 及び開発条例施策等視察研修報告

## 目的

村において、最近外国人観光客が大幅に増加するなかで、特にオーストラリアからの観光客が多く、地価の下落もあいまって、不動産業者を中心に土地・建物を買収し、外国人に販売している。この背景には北海道ニセコひらふ地区が原点にあり、和田野地区などに進出してきたようである。議会では、現在脚光を浴びているインバウンド事業の先駆者的立場にある、同地区の開発の実態・開発条例施策などを把握することを目的とする。

## 場所

北海道ニセコひらふ地区

## 日程

平成20年10月27日(月)～  
29日(水)

## 参加者

議員9名

## 経費

○収入	公費	270,000円
	自己負担計	466,200円
		736,200円
○支出	交通費	410,034円
	宿泊費	294,216円
	土産代等計	31,950円
		736,200円

## 研修内容

### (1) 倶知安町ニセコひらふ

◇日時 平成20年10月28日

◇場所 ニセコパークホテル

◇説明者 (株)ニセコパーク

ホテル 福井社長

### ◇内容

同地区の外資による開発の実態と地区全般の現状についての説明と地区内のコンドミニアム等現場視察

倶知安町は、人口1万6千人弱の町であり、ジャガイモの町・豪雪の町・おいしい水の町で、冬はスキー、夏はアウトドアスポーツが盛んで、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山

(1898m)がエリアにあり、国立公園ニセコアンヌプリ(1308m)を頂上にニセコグラン・ヒラフスキー場がある。

観光客の入り込みは、約152万人で冬期間は約70万人で全体の45・5%、グリーンシーズンが55・5%を占め、第1次産業10・9%、第2次産業12・6%、第3次産業76・5%で観光と農業の町である。2000年頃から口コミにより、豪州人を中心に外国人観光客が急増し、豪州人による不動産ビジネスの開発事業の進出に成功した先駆けとなる地域がニセコひらふ地区である。

### ■豪州・アジアからの来訪者の急増の要因

- ① 世界一のパウダースノー。
- ② 豪州実業家によるアウトドア事業の口コミ宣伝。
- ③ 2001年9月11日米国の同時多発テロ事件をきっかけに、代替地としてニセコを選択。
- ④ 豪州・アジア経済の好景

気と円安傾向による割安感。

⑤ 新千歳空港からのアクセスの良さ。(車で2時間程度)

⑥ テレビ等メディアでの取り上げ。

⑦ 時差がほとんどない。

⑧ カナダ・欧州より近く、渡航費用も安い。

⑨ 異文化(温泉・食事・豊かな自然景観)。

⑩ 他国と比べて治安の良さ。

⑪ 公共のインフラの整備充実(上下水道・光ファイバー)

による通信網の完備)

⑫ 不動産の売り手と買い手がマッチング(ペンションのオーナーがリタイヤするタイミングと豪州人の投資がマッチング)し、コンド

ミニニアムは投資目的で何回も転売(日本人は、別荘を転売しない傾向にあり、外国人と価値観が違う)

など急増の要因の説明があった。

スキー場直下にウェルカムセンターがあり、観光案内、

駐車場が完備され、ペンション街は白馬の和田野・五竜地区のような立地条件であり、ペンションビレッジでは、殆どの日本人オーナーが土地・建物を豪州人に売って町に移住したとのことであり、外人村という雰囲気であった。また、至る所でコンドミニアム・ペンション等が建築中であり、白馬村とは違った活気を感じた。

しかし、新築・改築物件が至る所で「セール」の立看板が乱立しており、前述の投機目的に違和感を持った。更に開発規制が遅れたためか隣地と建物が接近し、雪の問題、道路の除雪などに問題があるようだ。また、建物の形状、色彩なども統一しておらず外国人好みの感があった。

ニセコひらふ地区は土地も飽和状態であり、雄大な白馬アルプスの景観に魅せられて外国人、不動産業者が進出してきたのではないかと思う。「コンドミニアムの進出によって、既存のホテル・ペンションが客を奪われないか」との質問に、福井氏いわく「影



規制が遅れ、隣の建物と接近（ニセコひらふ）

響はない」と、また、「外国人とのトラブルなどは」の質問に、「開発不動産業者がしっかりと管理しているため、さほど問題はない」との返答があった。しかし、昨今の金融不安が今後どのように影響を及ぼすのか不安もあるとの発言もあった。

## (2) ニセコ町

### (アイヌ語で切り立った崖)

◇日時 平成20年10月28日

◇場所 ニセコ町役場 会議室

### ◇説明者

ニセコ町議会 一宮副議長

長・渡辺議会運営委員長

ニセコ町役場 加藤企画課長・折内商工観光課長

◇内容 ニセコ町の外国資本による開発の現状についての説明及び意見交換

ニセコ町は人口約4700人でアンヌプリの山岳に囲まれ、ニセコひらふスキー場と接し、ニセコ東山スキー場、ニセコアンヌプリ国際スキー場があり、第1次産業22・9%、第2次産業8・5%、第3次産業68・5%で、観光と農業が基幹産業である。倶知安町（ニセコひらふ）と同様に外国人観光客が増加しており、70件の宿泊施設があり、西武グループ（プリンスホテル）が開発したスキー場は、ヒルトンホテルに経営が移ったようである。

自然公園法があり、クリアしなければならぬ規制があるためか、町自体の規制は、白馬に比べて緩やかな印象を受けた。企画課長から外国人頼みの開発は期待もしているが心配もしているとの発言が印象的であった。

## (3) まとめ

倶知安町（ニセコひらふ）ニセコ町それぞれ視察をするなかで、いずれも観光と農業の町であり、観光協会長・行政担当者の違った視点での意見も貴重であった。開発規制については、白馬村の方がしっかり確立しており、あまり参考にはならなかった。

ニセコ地区の資源・景観など素晴らしいが、白馬のスケールの大きなアルプスをあらためて誇りに思った。外国人観光客に魅力・人気があるのも頷けた。

白馬村においてニセコ地区のような投機目的での不動産取得は規制をする必要があると思うが、開発業者にはしっかりと管理まで責任を課し、優良な開発業者も受け入れながら、地域の活性化・雇用の創出も図り、過去の苦い経験を踏まえ、将来を見据えた国際観光リゾート白馬を目指して、世界に発信することが重要であると感じた。

# 追跡レポート

こないだ聞いたことあり  
どうなったただやあり

## 問

住民アンケート調査  
はするべきだと思いま  
すが、いかがですか。

## 答

場合によっては、必  
要になることも考えら  
れます。

## 問

保育園の送迎と福祉バスを  
兼ねた村民バスの計画は。

## 答

遠距離園児の通園支援と現  
在の福祉タクシー券に変わ  
る、高齢者の身近な地域交通を兼ね  
た乗り合いタクシーを検討していま  
す。

## その後

北アルプス広域連合で、民  
意を把握するアンケート調査  
を、1月中旬に実施します。

## その後

平成20年4月か  
ら保育園が著しく  
遠い5地区を対象に、園児の送迎を  
しています。また、高齢者や運転免  
許を持たない移動制約者の買い物、  
通院などの交通確保と社会参加を  
図るため、乗り合いタクシーの試験運  
行を11月11日より実施し、平成21年  
4月1日より本格運行します。

# おらが里づくり

三日市場花の里づくり推進委員会長 太田 史彦



植栽した谷地川左岸の花木

間隔に交互に植  
え、その間にヤマ  
ブキやアジサイを  
増植してきまし  
た。

住民参加の花づ  
くりは、一人ひと  
りの力の結集が必  
要で、額に汗する  
という事に意味が  
あります。そうす  
る事で、より一層  
地元に着着を感  
じ、自分たちの住  
むこの地域を自分  
たちが守り育てて  
いこうとの意識が  
強まるのだと思  
います。地元の景観  
は世界遺産の景観になり得る第一歩で  
もあります。花づくりは景観づくりで  
あり、「守る景観」「造る景観」に対して、  
各人が意識を確立し、実践する事が一  
番大事なことでないでしょうか。

七年目にしてコブシの花がちらほら  
観られるようになりましたが、まだま  
だ時間が掛かりそうです。今年植えた  
アジサイの苗木が成長して、土手一面  
が満開の華で見事に覆われる日を今か  
ら楽しみに期待しています。

三日市場区では、白馬村の地域活性  
化事業を受けて、サンサンパーク南側  
の谷地川左岸を中心に、花木の植栽に  
区の継続事業として取り組んできまし  
た。当初よりこの事業の主旨から区民  
全戸の参加を呼び掛け、子供から老人  
まで参加していただくために、公民館  
の花壇や美麻境の待避所周辺にも、宿  
根草などを合わせて植えてきました。

特に谷地川左岸はサンサンパークから  
の景観を意識して取り組み、おおよそ  
三〇〇mの間にサクラとコブシを一〇m

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## 地域おこしは自らの手で

深空 降簾 良昌

観光として生きる白馬村は、世界経済の急激な悪化による円高ドル安、又ウォンが大きく下落している韓国など。外国観光客が増加してきた当村にとっては厳しい時を迎えています。しかし、インバウンド推進を怠ることなく、これからも海外に向けて情報発信を活発に続けることが、当村発展に繋がることと思います。さて、このような時こそ観光を支えるために、地域おこしが益々必要であると考え、地域の人達が行政に「おんぶにだっこ」でなく、自分達の手で出来ることから取り組み、地域おこしが出来ないものでしょうか。私達は、白馬村の花木である「こぶし」を大切に守り育てて行きたいと思い、深空地区に素晴らしいこぶしが在るのに着眼し「四十九院のこぶし」と命名。「四十九院のこぶし保存会」を設立しました。会員は20数名ですが、お互いにお金を出し合い、その周辺の整備を行っています。こぶし周辺の草刈、藪切、又景観を考え「菜の花畑」を作り、訪れた観光客に大変歓迎されています。一人ひとりが「ずくを出し、本気でやる気」を起こせば「水や空気」が美味しく自然環境に恵まれた白馬村は素晴らしい村に成ると思います。



## 大人社会

塩島 山本 美幸

平成21年の幕開けは、誰もが想像を絶するものでした。白馬での36年間。豪雪に始まり、観光客そして村内の様変わり、景気の絶頂期、そして混迷、衰退。今日世界の情勢がそのまま日本に連動する時代、白馬村での様々な変化は、日本のそれと全く同じ縮図のように身近に感じられます。年代に関係ない拝金主義（損得勘定優先）、迎合主義（小手先戦術）等の蔓延。人間も質の低下に拍車がかかります。身の丈に合った生活が楽しめる事。自分の内に確固たる信念を持ち、世の中がどのように変化しようとも、それに迎合することなく、損得、勝ち負けに視点を置かず年月を重ねる。自分が意図せずして追い風を感じた時、はじめて地道な努力が報われる。すべてに通じることではないでしょうか。どんな分野においても本物を目指すために、小手先では通用しないことを身をもって伝えられる大人達が必要です。



## 白馬マイスターに従事して

飯森 倉科 光男

白馬村観光局に依頼され、十数年、時代の流れと共に社会も大きく変化し、白馬村への観光客も年々減少してきました。伝承ものづくりの担い手が途絶えてしまいで残念ですが、近年文科省では体験学習の教育効果を認め、全国的に実施されるようになりました。現代の生活も文化的になり過ぎ、何でもお金さえ出せば手に入るため、玩具や遊具には不自由を知らない現状となっており、今の子供達にはあまり良い状況とは言えません。そこで、体験学習の必要性が見い出されたと思われま。自然環境に恵まれている白馬村でも身近にある素材を活用し、子供達に教えてやることにより、わらざうりや竹馬、竹とんぼ等、忘れかけていたことを復活させて、自らの物造りの楽しさや喜びを感じていただき、昔から伝わっている物造りを大事に絶やさないようにして行きたいものです。

### 編集後記

謹んで新春のお喜びを申し上げます。2009年の議会だより発行に当たり、村民の皆様には、平素のご支援・ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。今年も、紙面作りには、読んでいただける議会だよりを目指して参ります。

新しい年を迎え、厳しい財政状況の中ですが、夢の持てる村づくりのため、頑張るべきだと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

柏原孝至記

### 議会報調査編集

### 特別委員会

議長 西澤 功  
委員長 柏原 孝至  
副委員長 渡辺 俊夫  
委員 池田 和良  
委員 小林 英雄  
委員 太谷 正治  
委員 宮尾 幸典  
委員 高橋 賢一

白馬議会だより 87号  
平成21年1月30日発行

発行 長野県白馬村議会  
編集 議会報調査編集特別委員会  
印刷 尚北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
http://gyosei.vill.hakubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakubanagano.jp